

2022年2月17日 全8頁

Indicators Update

2022年1月貿易統計

ワクチンの輸入増加などにより貿易赤字が急拡大

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2022年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+9.6%と11カ月連続で増加したものの、コンセンサス(同+17.1%)を大きく下回った。1月下旬に複数の自動車メーカーが国内で減産を行った影響によるものとみられる。輸入金額はエネルギー価格などの高騰を背景に同+39.6%と大幅増が続いている。また、新型コロナウイルスのワクチンの輸入増によって輸入数量が大きく押し上げられた。これを受け、貿易収支は▲2兆1,911億円と、8年ぶりの赤字幅となった。季節調整値で見ても▲9,326億円となり、赤字幅はコロナショックで輸出が急減した2020年4月以来の大きさとなった。
- 輸出数量(大和総研による季節調整値)は前月比▲0.4%と2カ月連続で減少した。米国向け(同▲4.1%)の自動車関連財が全体を押し下げた。他方、EU向け(同+8.6%)やアジア向け(同+4.9%)は増加に転じた。もっとも、アジア向け輸出には、2月の春節に備えた輸出の前倒しが含まれている可能性がある。
- 先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るだろう。欧米では新規感染者数がピークアウトしており、今後は人出の回復に伴って消費機会が増加するとみられる。ただし、半導体不足が2022年後半まで継続するとみられることから、自動車などの増産が抑制されることで輸出の増加ペースは緩やかになるだろう。

【貿易金額】 輸出数量は足踏み一方で輸入数量は新型コロナのワクチンが押し上げ

2022年1月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+9.6%と11カ月連続で増加したものの、コンセンサス(同+17.1%)を大きく下回った(図表1)。1月上旬中旬の時点では同+19.7%であったことから、1月下旬の複数の自動車メーカーによる国内での減産の影響が想定以上に大きかったとみられる。季節調整値では前月比+0.1%と、小幅ながら2カ月ぶりに増加した。輸出金額はこのところ価格要因によって押し上げられているが、輸出数量は半導体不足や世界的な感染拡大による部品調達難を背景に足踏みしている(図表2左)。

輸入金額は前年比+39.6%と大幅増が続いている。品目別では、原油及び粗油などの価格が高止まりしているエネルギー品目が押し上げた。季節調整値で見ても前月比+4.9%と、季節調整のかけ直しによって6カ月連続の増加となった。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量(大和総研による季節調整値)は同+5.4%、輸入価格(同)は同▲0.5%となった。輸入数量の増加は医薬品輸入の急増によるもので、国内での3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種に向けた動きが表れたとみられる。全体を均して見ると、輸入数量は緩やかな増加にとどまる一方、輸入価格の上昇が輸入金額を押し上げる構図が続いている(図表2右)。

これを受け、貿易収支は▲2兆1,911億円と、8年ぶりの赤字幅となった。季節調整値で見ると▲9,326億円と、季節調整のかけ直しによって8カ月連続の赤字となり、赤字幅はコロナショックで輸出が急減した2020年4月以来の大きさとなった。

図表1：貿易統計の概況

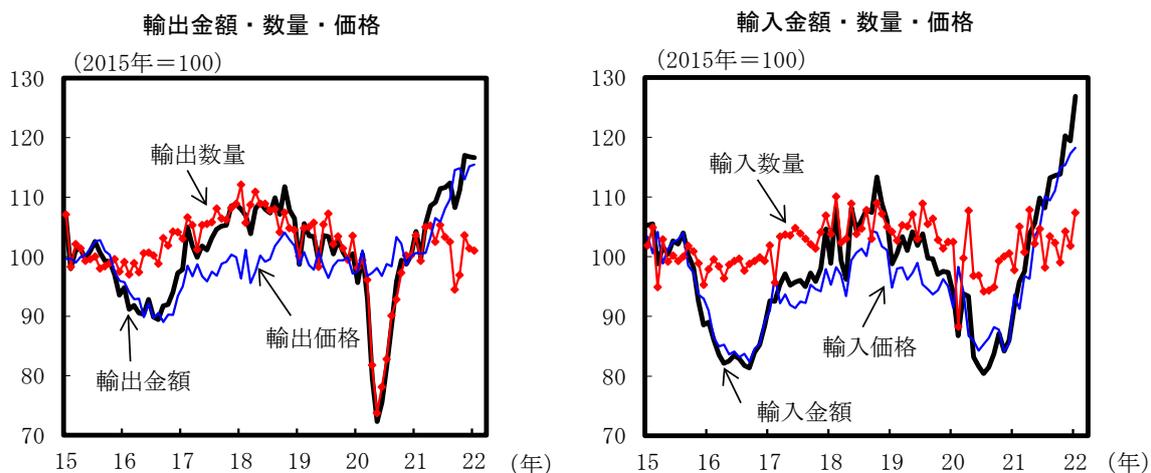
		2021年								2022年
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
原系列 前年比 %	輸出金額	49.6	48.6	37.0	26.2	13.0	9.4	20.5	17.5	9.6
	コンセンサス									17.1
	DIRエコノミスト予想									17.9
	輸入金額	27.7	32.5	28.1	44.5	38.3	26.8	43.9	41.1	39.6
	輸出数量	38.5	37.1	25.2	13.7	3.2	▲2.6	4.7	2.0	▲3.9
	価格	8.0	8.4	9.5	11.0	9.5	12.3	15.1	15.2	14.0
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	6.8	8.2	2.0	14.5	7.5	▲3.0	6.1	1.0	4.9
	価格	19.5	22.5	25.6	26.2	28.7	30.8	35.6	39.7	33.1
	貿易収支(億円)	▲1,934	3,789	4,358	▲6,431	▲6,296	▲739	▲9,584	▲5,833	▲21,911
	輸出金額	0.6	2.0	0.5	0.2	▲3.5	2.7	5.2	▲0.3	0.1
	数量	▲2.6	2.7	▲1.9	▲0.8	▲7.8	2.5	6.9	▲2.1	▲0.4
	価格	3.3	▲0.7	2.4	1.0	4.7	0.2	▲1.6	1.9	0.4
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	1.6	4.7	▲1.2	4.9	0.4	0.8	5.2	0.1	4.9
	数量	▲5.3	2.4	▲6.2	5.3	▲1.1	▲3.2	5.2	▲2.3	5.4
	価格	7.2	2.2	5.2	▲0.4	1.5	4.2	▲0.1	2.5	▲0.5
	貿易収支(億円)	478	▲1,308	▲99	▲3,413	▲6,157	▲4,931	▲5,193	▲5,495	▲9,326
税関長公示レート		108.80	109.50	110.55	109.89	109.87	111.42	113.95	113.95	114.82

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

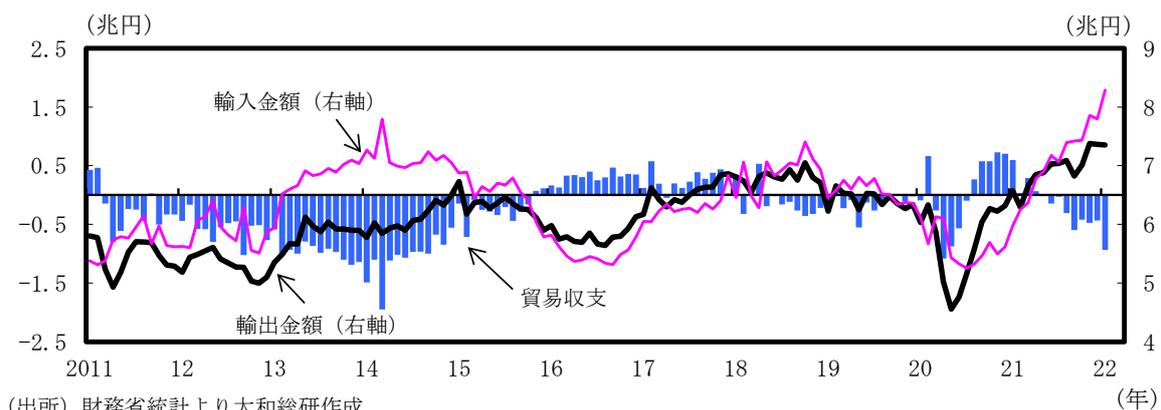
図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

【輸出数量】1月下旬の自動車減産を受けて全体は足踏み

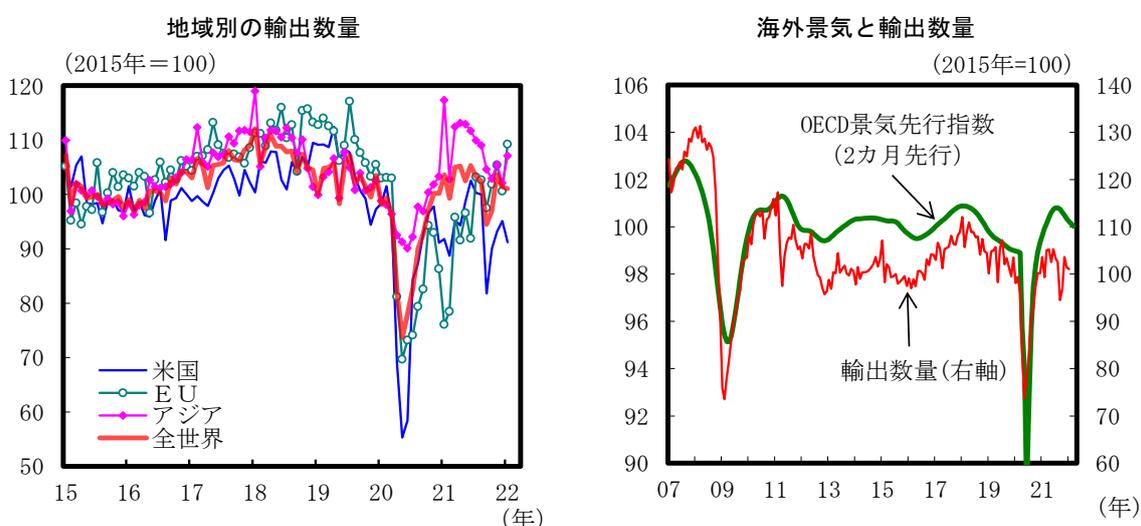
1月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲0.4%と2カ月連続で減少した。米国向け（同▲4.1%）の自動車関連財が全体を押し下げた。他方、EU向け（同+8.6%）やアジア向け（同+4.9%）は増加に転じた。もっとも、アジア向け輸出には、2月の春節に備えた輸出の前倒しが含まれている可能性がある。

米国向けは4カ月ぶりに減少した。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた部品調達難や半導体不足によって自動車輸出が減少した。加えて、原動機や鉄鋼、自動車の部分品など、自動車生産に用いる財の輸出も大幅に減少した。国内外の自動車メーカーが感染拡大による部品調達難や半導体不足に悩まされる中で、現地生産の縮小による影響が表れたとみられる。また電算機類の部分品も減少したが、これは前月の大幅増の反動によるものとみられ、均して見ればこのところは横ばい圏で推移している。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。自動車の部分品や電算機類の部分品など、中間財輸出が大幅に増加した。ユーロ圏の2021年12月の鉱工業生産指数は前月比+1.2%と、予想を大幅に上回る強い動きとなっており、2022年1月は部品在庫の復元が中間財需要につながった可能性がある。また医薬品も全体を押し上げた。他方、自動車輸出は減少に転じた。米国向けと同様に部品調達難や半導体不足が背景にあるとみられる。

アジア向けは2カ月ぶりに増加した。中国向けを中心に、半導体等製造装置やIC（集積回路）、自動車の部分品などが全体を押し上げた。半導体等製造装置は均して見れば横ばい圏で推移しているが、高水準を維持している。他方、自動車輸出は欧米向けと同様に減少した。また鉄鋼や非鉄金属などの建設資材は減少が続いており、中国国内での不動産開発に対する規制強化を背景に建設活動が停滞していることが影響しているとみられる。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



（注1）OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6カ国を集計したベース。

（注2）輸出数量の季節調整は大和総研。

（出所）財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】海外での感染拡大の頭打ちにより輸出は緩やかな増加基調へ

先行きの輸出は緩やかな増加基調を辿るとみている。1月まで感染が急拡大していた欧米では、強い行動制限措置が出ていなかったにもかかわらず外出の自粛が見られ、少なからず消費機会が減少していたと考えられる。他方、今後は人出の回復とともに消費の活発化が期待される。とはいえ、輸出の増加ペースは半導体不足によって緩やかなものにとどまるだろう。報道によれば、足元ではトヨタ自動車が3月中の国内生産台数を3万台程度減少させるという。米商務省が半導体メーカー等に対して行った聞き取り調査¹によれば、新たな半導体工場の稼働は早くとも2022年後半になるとみられており、年後半までは日本でも自動車などの生産が抑制されると考えられる。

地域別に見ると、米国向けは緩やかに増加するとみている。米国では新規感染者数がピーク時よりもかなり減少しており、今後は人出の回復とともに消費機会の増加が見込まれる。高所得層を中心に積み上がった貯蓄が個人消費の原資となろう。ただし、FRBが3月のFOMCで利上げを行う姿勢を示していることから、個人消費の鈍化のみならず、企業の設備投資マインドの悪化によって日本からの資本財輸出が減少する可能性には注意が必要だ。

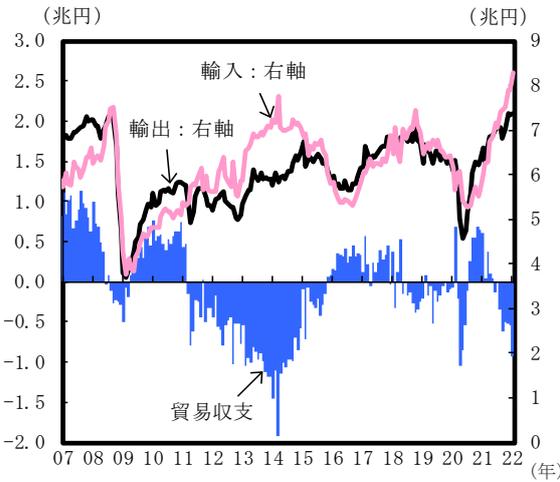
欧州向けは緩やかに増加するとみている。欧州では1月中に新規感染者数がピークアウトしたとみられ、米国と同様に消費機会が徐々に増加するだろう。他方、足元では1月のユーロ圏のHICPが速報ベースで前年比+5.1%と過去最高を更新しており当面は物価上昇が消費マインドに悪影響を及ぼすとみられる。

中国向けは2月に減少したのち、横ばい圏で推移するとみている。2022年は春節が2月であったため、1月に対中輸出が前倒しされた反動で2月は減少するとみられる。他方、中国では2022年秋の共産党大会に向けて景気が加速するとみられるが、全人代などの重要イベントが終了する3月までは、ゼロコロナ政策によって個人消費が抑制されるとみられる。低迷が見込まれるのは主に接触型の消費であるため、サービス業向けの資本財輸出が減少する可能性があるだろう。

¹ 米商務省 “[Results from Semiconductor Supply Chain Request for Information](#)” (2022年1月25日)

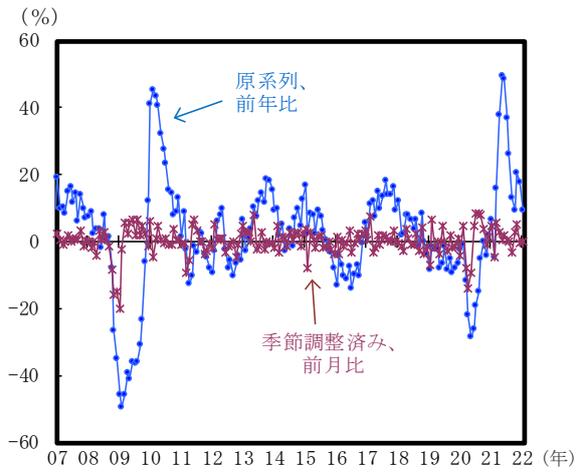
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

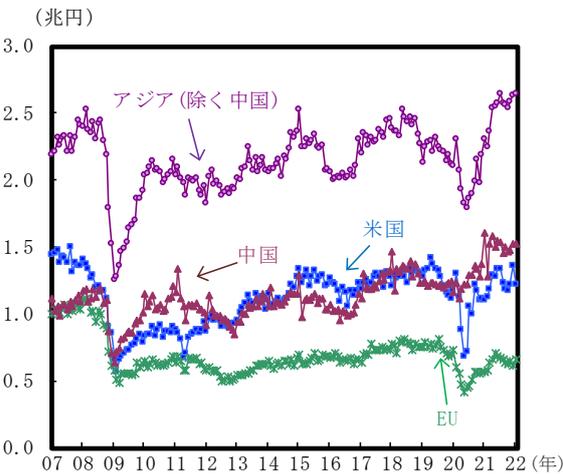


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

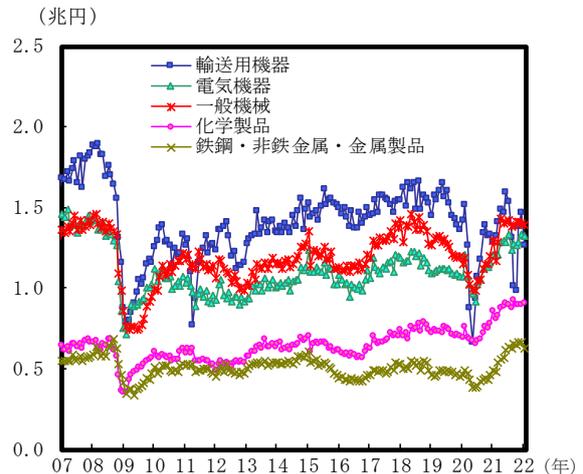


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

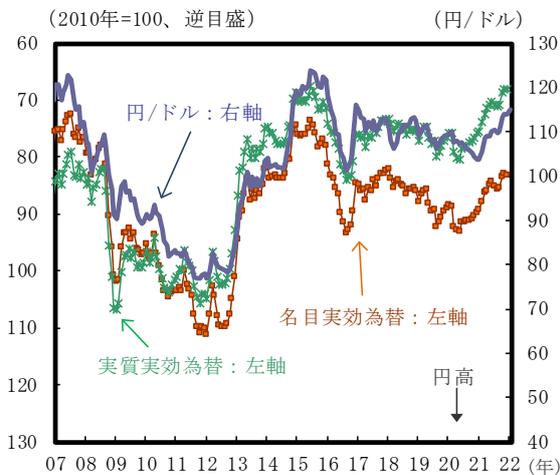


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

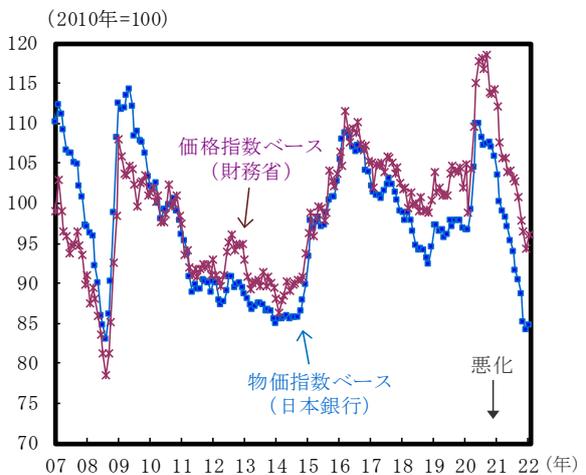


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	26.2	13.0	9.4	20.5	17.5	9.6	100.0	9.6
食料品	29.2	22.6	17.2	18.5	21.3	2.2	1.1	0.0
原料品	48.9	35.8	18.5	26.1	12.1	▲0.7	1.4	▲0.0
鉱物性燃料	153.5	167.8	210.0	166.4	84.2	112.2	2.4	1.4
化学製品	28.5	27.3	18.0	20.2	15.6	5.8	13.2	0.8
原料別製品	43.6	42.8	37.2	44.4	35.5	20.0	12.0	2.2
鉄鋼	83.6	94.4	80.1	87.8	75.1	47.0	4.8	1.7
非鉄金属	13.3	14.5	20.5	27.7	26.1	18.0	2.7	0.5
金属製品	29.1	23.1	13.0	11.2	6.0	▲8.3	1.4	▲0.1
一般機械	31.7	23.7	22.9	22.6	17.6	7.1	18.3	1.3
電気機器	17.1	14.4	10.5	14.3	15.0	9.8	18.4	1.8
半導体等電子部品	14.9	13.7	15.1	20.8	25.9	18.7	6.3	1.1
I C	12.7	8.7	13.3	20.3	26.9	22.0	4.4	0.9
映像機器	15.6	5.3	▲20.4	▲10.5	▲8.4			
映像記録・再生機器	14.4	6.2	▲23.0	▲11.5	▲8.1	8.9	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	25.5	0.6	20.6	7.2	2.9	▲9.3	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	25.4	20.4	10.9	10.0	10.1	1.4	2.4	0.0
輸送用機器	11.5	▲24.5	▲28.7	4.3	10.2	▲0.5	19.0	▲0.1
自動車	4.0	▲40.3	▲36.7	4.1	17.6	▲1.0	12.3	▲0.1
自動車の部分品	28.7	9.9	▲7.0	0.7	▲0.3	3.6	4.2	0.2
その他	27.7	13.5	17.8	29.5	16.6	16.1	14.2	2.2
科学光学機器	21.6	15.8	14.6	26.8	14.1	▲2.4	2.5	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	22.8	▲3.3	0.3	10.0	22.1	11.5	100.0	11.5
食料品	66.0	23.2	58.1	18.9	48.8	19.7	1.0	0.2
原料品	60.5	18.0	42.5	6.7	21.9	▲16.2	0.7	▲0.2
鉱物性燃料	595.0	2673.2	693.6	739.5	100.4	560.0	0.2	0.2
化学製品	55.0	24.1	28.9	26.3	13.5	25.2	10.8	2.4
原料別製品	44.2	21.9	40.3	28.1	36.0	8.8	6.5	0.6
鉄鋼	48.6	59.7	104.8	70.6	121.6	38.1	1.4	0.4
非鉄金属	52.4	35.8	83.9	52.5	74.2	45.6	0.9	0.3
金属製品	26.0	14.1	11.8	0.2	▲1.2	▲24.6	1.3	▲0.5
一般機械	54.2	40.7	29.8	20.4	35.0	29.2	25.0	6.3
電気機器	23.6	5.8	17.0	21.8	26.8	12.3	14.2	1.7
半導体等電子部品	37.4	27.1	26.2	21.9	24.9	17.6	1.6	0.3
I C	21.0	10.4	12.6	22.3	12.9	15.0	0.7	0.1
映像機器	36.1	▲5.8	▲15.6	▲12.2	0.6			
映像記録・再生機器	41.1	▲6.0	▲24.6	▲14.3	▲5.8	16.1	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	168.6	78.7	41.8	74.2	10.1	▲32.2	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	20.6	▲0.9	13.2	13.1	13.4	▲2.8	1.4	▲0.0
輸送用機器	▲8.3	▲38.4	▲39.1	▲8.7	10.4	▲2.3	31.2	▲0.8
自動車	▲12.4	▲47.0	▲46.4	▲11.5	11.9	▲0.2	24.7	▲0.1
自動車の部分品	29.8	13.2	0.8	13.4	12.1	▲1.2	5.2	▲0.1
その他	28.7	▲6.1	22.9	24.7	25.7	9.9	10.3	1.0
科学光学機器	42.4	19.5	29.3	17.8	35.9	19.3	2.4	0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	29.9	12.1	12.1	16.4	9.7	16.1	100.0	16.1
食料品	78.7	55.7	50.2	47.7	41.8	49.9	0.6	0.2
原料品	31.6	44.4	10.6	46.9	11.7	31.4	1.0	0.3
鉱物性燃料	30.6	131.0	957.7	55.0	13.3	0.7	0.1	0.0
化学製品	25.3	38.0	27.6	19.2	9.0	11.5	13.5	1.6
原料別製品	111.5	60.9	45.9	42.0	24.5	44.0	7.9	2.8
鉄鋼	495.3	140.9	192.2	140.1	162.1	203.9	1.7	1.3
非鉄金属	77.3	206.4	13.0	46.1	18.6	93.2	1.3	0.7
金属製品	46.7	29.8	17.5	19.8	▲11.5	▲15.4	1.3	▲0.3
一般機械	47.2	31.0	25.8	18.0	9.2	16.7	21.1	3.5
電気機器	22.8	18.4	16.2	5.8	▲5.6	11.8	18.2	2.2
半導体等電子部品	25.5	27.0	7.1	13.4	15.4	15.0	2.6	0.4
I C	26.5	13.8	▲0.6	9.0	14.4	10.2	1.1	0.1
映像機器	6.0	17.0	▲24.7	▲11.8	▲33.9			
映像記録・再生機器	1.6	19.1	▲21.1	▲11.4	▲33.3	1.5	0.7	0.0
音響・映像機器の部分品	5.2	▲4.8	▲11.4	55.7	11.2	7.4	0.2	0.0
電気回路等の機器	63.0	39.3	43.2	24.8	3.3	16.6	1.7	0.3
輸送用機器	3.1	▲36.8	▲26.0	3.0	12.7	▲6.5	19.4	▲1.6
自動車	▲18.3	▲58.5	▲34.2	17.9	50.0	▲12.4	9.8	▲1.6
自動車の部分品	17.9	▲5.8	▲21.5	▲36.4	▲39.4	▲9.4	5.8	▲0.7
その他	27.9	32.3	20.0	35.3	19.5	49.8	18.2	7.0
科学光学機器	32.2	28.6	35.7	40.3	9.2	40.1	4.3	1.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	26.1	21.3	15.0	24.7	16.6	6.3	100.0	6.3
食料品	18.8	22.2	10.9	18.7	14.9	▲4.6	1.3	▲0.1
原料品	46.7	40.1	17.8	27.5	11.0	▲0.6	2.0	▲0.0
鉱物性燃料	32.0	79.7	125.3	128.7	27.8	50.7	2.5	0.9
化学製品	29.0	26.8	15.5	19.8	14.3	0.6	16.2	0.1
原料別製品	42.1	42.1	35.6	45.6	35.9	17.5	14.7	2.3
鉄鋼	83.1	91.5	76.4	92.2	72.2	39.2	6.1	1.8
非鉄金属	18.5	13.1	20.5	26.0	24.8	15.8	4.1	0.6
金属製品	23.5	26.5	17.7	14.5	11.2	▲3.4	1.5	▲0.1
一般機械	20.5	16.8	19.9	23.6	12.9	▲4.7	16.8	▲0.9
電気機器	15.4	15.5	9.4	14.4	16.0	9.1	23.1	2.1
半導体等電子部品	13.2	12.1	14.8	20.7	26.0	18.8	10.1	1.7
I C	11.9	8.3	13.5	20.3	27.6	22.5	7.4	1.4
映像機器	▲1.3	16.1	▲16.1	▲1.3	4.3			
映像記録・再生機器	2.8	21.9	▲17.8	▲2.4	10.0	8.1	0.2	0.0
音響・映像機器の部分品	4.3	▲13.5	25.2	▲13.1	▲7.8	▲12.5	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	22.1	20.3	9.5	9.1	10.6	1.1	3.3	0.0
輸送用機器	16.2	▲21.2	▲23.2	8.2	5.3	1.4	7.4	0.1
自動車	9.3	▲47.3	▲35.4	3.4	17.3	▲5.0	3.6	▲0.2
自動車の部分品	25.4	16.6	▲4.5	3.5	6.3	9.7	3.0	0.3
その他	35.8	30.5	16.4	33.4	15.8	11.5	16.0	1.8
科学光学機器	15.6	13.1	6.7	25.6	10.8	▲15.9	2.6	▲0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	2022/01		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.6	10.3	9.6	16.0	10.8	▲5.4	100.0	▲5.4
食料品	72.8	44.5	40.1	25.2	16.2	3.6	0.7	0.0
原料品	39.0	71.4	48.9	42.3	4.4	7.2	2.1	0.1
鉱物性燃料	▲23.3	▲1.8	▲1.8	39.2	25.4	▲51.4	0.5	▲0.5
化学製品	25.4	24.1	18.6	22.1	15.1	▲9.4	18.0	▲1.8
原料別製品	8.9	10.6	26.0	26.8	23.1	▲3.0	12.0	▲0.4
鉄鋼	5.9	23.6	32.4	47.3	48.8	3.8	3.5	0.1
非鉄金属	6.3	▲5.6	41.6	25.2	22.9	▲2.6	4.0	▲0.1
金属製品	10.3	22.1	16.7	14.0	10.0	▲5.6	1.7	▲0.1
一般機械	5.6	10.1	12.9	22.7	5.6	▲11.1	21.3	▲2.5
電気機器	15.0	17.6	13.0	14.3	17.0	11.4	24.6	2.4
半導体等電子部品	11.2	16.8	27.0	25.3	28.7	34.5	8.8	2.1
I C	10.6	20.3	30.6	31.4	32.3	51.3	6.3	2.0
映像機器	▲11.7	11.8	▲31.6	▲9.4	▲4.8			
映像記録・再生機器	▲6.9	19.5	▲31.6	▲10.6	2.3	▲0.9	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲20.0	▲26.3	28.5	▲38.8	▲22.3	▲29.6	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	16.8	13.8	4.0	5.0	13.0	▲1.0	3.7	▲0.0
輸送用機器	▲5.5	▲43.7	▲33.8	▲8.9	14.9	▲3.5	9.5	▲0.3
自動車	▲11.2	▲71.9	▲46.8	▲8.3	30.6	▲9.0	5.2	▲0.5
自動車の部分品	2.1	▲3.3	▲15.1	▲10.6	▲4.6	6.8	4.2	0.3
その他	17.4	20.1	2.5	8.0	▲6.0	▲18.5	11.4	▲2.4
科学光学機器	1.5	1.3	5.6	14.3	0.0	▲25.5	3.2	▲1.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成